

### 3-1 今年度の目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### 1 学習指導の充実

- ①生徒の主体性や協働性を高める指導法を工夫する
- ②ICTやALの手法を効果的に活用して授業の効率化を図る
- ③科学技術に関する専門科目や課題研究の指導を充実させるとともに、報告書の作成や説明能力、プレゼンテーションスキルを高める指導を充実させる
- ④相互授業参観等のOJTを充実させ、校内研修等で研鑽を積み、授業力の向上を図る
- ⑤外部での授業研究等の研修成果を教科会や研修会等で還元し教科指導の改善に努める
- ⑥全学年で朝・放課後の学習活動、補習や補講等を活用してきめ細かな指導を充実させる
- ⑦新教育課程へ円滑に移行するとともに、オンライン学習を効果的に活用することで学力スタンダードを実施する
- ⑧国際性を高めるために、海外交流を積極的に行うなど活動を充実させる
- ⑨各教科でオリンピック・パラリンピック教育を推進する

##### 2 進路指導の充実

希望する理系大学への進路実現を図る進路指導を行う。

- ①生徒の進路希望の実現を目指し、模試分析会を活性化し3年間を見通した進学指導の校内体制を充実させる
- ②自習室等の整備や学習課題を工夫し、学びに向かう姿勢を高める。放課後や自宅での自学自習の習慣化を図る
- ③進学意識を向上の為、進路講演会や成功事例紹介などを実施する
- ④担任と進路部、教科担当で情報の共有化を図り、個別指導を充実させる
- ④専門性を高める資格取得の講習を充実させる

##### 3 生活指導の充実

- ①挨拶の響く明るい学校を推進し、教職員の率先垂範を徹底する
- ②遅刻防止指導と身だしなみ指導を全教職員で組織的に指導する
- ③体罰のない学校づくりに向けた取組みを推進する
- ④学校いじめ対策委員会を中心とした指導体制を充実させ、その指導と防止に努める
- ⑤教育相談委員会及びスクールカウンセラー等による相談体制を充実させ、自殺予防等、相談活動を推進する
- ⑥思いやりの心を育てる取組みや自己管理能力を高める取組みを充実させる
- ⑦授業時間に則って始業及び終業を徹底し組織的に授業規律の徹底を図る
- ⑧情報モラルの徹底や薬物乱用防止教室等の実施により規範意識の向上・啓発を推進する
- ⑨交通安全教室、セーフティ教室等を実施し自転車の乗り方や通学マナーの指導に努め、交通安全の徹底を図る。また、携帯電話やスマートフォンを適正に利用できるよう教職員全員で指導する

##### 4 特別活動・部活動の充実

- ①文化部推進校として、生徒が発表会やコンテスト等に積極的に挑戦しその想像力や表現力等を高めることで、その活動を活性化
- ②外部発表会を活用して発表内容を充実させる
- ③地域や小中学校と連携して科学技術の啓発に向けた取組みを充実させる
- ④科学技術科の特色を生かした学校行事や校外活動を充実させる
- ⑤生徒の主体性を伸ばす部活動や生徒会活動を活性化

## 5 保健活動の充実

- ①学校保健計画に基づき、体力や健康づくり、食育の指導の充実を図る
- ②保健室等とスクールカウンセラーとの連携を深めて相談活動を充実させ、生徒のメンタルケアを推進する
- ③特別支援教育を推進する
- ④清掃活動やごみの分別を徹底して校内美化活動を推進する
- ⑤健康診断や体力テストを活用し生徒の健康維持、体力向上を図る
- ⑥規則正しい生活習慣を身に付けさせることで、生徒の皆勤率を高める
- ⑦保健体育の授業や体力テストとともに、体育祭やマラソン大会、球技大会等の体育的行事を充実させる

## 6 募集・広報活動の充実

- ①全教職員で組織的に中学校・塾訪問を行うとともに、外部説明会への参加や学校見学会・説明会等に積極的に参加し、体験入学等の学校広報にもこれまで以上に取組む
- ②プレゼンテーション資料を全教職員で共有して広報活動の一貫性と整合性を高める
- ③ホームページ、学校案内パンフレット及びポスター、学校紹介ビデオの更新と質の向上を図る

## 7 学校経営・組織体制の充実

- ①周年行事の円滑な実施に向けて、同窓会や後援会と連携し準備委員会を組織しその準備に努める
- ②次期学習指導要領の実施に向け、教育課程委員会を中心に新しい教育課程の検討を図る
- ③学校運営は組織的に取り組み、業務分担が偏らなく効率化を図るとともに個人情報管理を徹底する
- ④部活動の休養日設定等、業務の効率化に努めるとともに教職員の育児や介護を支援するなどワークライフバランスを考えた運営をする
- ⑤経営企画室の経営参画を推進し、進行管理の適切化や教育活動の円滑化に努める
- ⑥地域や外部組織との交流により信頼される学校づくりを推進する
- ⑦テニスコート等の施設開放、公開講座の開講により、本校の施設や教育力を地域等の都民へ広く還元する

## 3-2 重点目標（数値目標）

### （1）科学技術の関心と基礎力を育てる

- ①大学や外部研究施設の連携数 50件以上 ②校外発表件数 50件以上(コロナ影響下方修正)
- ③全国大会レベルの入賞件数 5件以上 (コロナ影響下方修正)

### （2）希望の理系大学進学を実現させる

- ④国公立大学合格者数 15名以上(昨年15) ⑤四年制大学進学率65%以上(昨年60)
- ⑥センター試験受験率 60%以上(昨年55)
- ⑦授業以外での学習時間 2時間以上(1、2年生共通)(昨年67分)
- ⑧英検準2級程度以上のスコア生徒数割合 50%以上

### （3）責任感と主体性、協働性を育てる

- ⑨年間遅刻回数1日1学級1人未満(昨年1.28 一昨年2.21と大幅改善、さらに推進)
- ⑩部活動参加率 85%以上(昨年82%)

### （4）本校志願者を増やす

- ⑪保護者の本校教育活動の満足度85%以上(82.9%) ⑫ホームページの更新100回以上
- ⑬一般入試倍率 1.6倍以上(昨年最終応募倍率1.53、受検倍率1.12)
- ⑭推薦入試倍率 1.5倍以上(昨年40%枠で1.15、30%ならば1.5)